

平成22年5月11日

観光交流課
直通 0742-34-1965
内線 2923

**第12回世界歴史都市会議を世界にアピール
～ポスターとパンフレットができました～**

1 目的

奈良市では平城遷都1300年祭の事業として、本年10月12日～15日に「第12回世界歴史都市会議」を開催します。開催を半年後に控え、国内外に本会議の開催をアピールするために、このたびポスターとパンフレットを作成しました。

2 規格

ポスター	B2サイズ	カラー刷	
	制作枚数		400枚（日本語）
パンフレット	A4サイズ	カラー刷	全6ページ
	制作部数		日本語版 1,000部 英語版 1,000部

3 配布先

世界歴史都市連盟加盟都市 86都市
奈良市の国内外友好・姉妹都市 10都市
I C O M O S（国際記念物遺跡会議）の各国事務所 25か所
在日公館 83か所
この他、大学・研究機関・関連学会など

4 内容

パンフレット	
P1	世界歴史都市会議とは 世界歴史都市連盟
P2	歴史都市からのメッセージ 奈良市の紹介
P3	12回世界歴史都市会議の概要 会議テーマの詳細（ラウンドテーブル）
P4	主な会議と参加方法 会議テーマの詳細（ワークショップ）
P5～6	第12回世界歴史都市会議スケジュール

5 プログラム紹介

奈良市で行う第12回会議では、ラウンドテーブル（市長など行政担当者の会議）・ワークショップ（まちづくりの専門家による会議）の他、初めての試みとして、次のプログラムを行います。

ユースフォーラム

世界歴史都市会議「ユースフォーラム」は、若者に発表の機会を提供するとともに歴史都市の未来を担う若者を育てようと、第11回世界歴史都市会議において大学生及び大学院生を対象として実施されました。奈良市で開催する会議では、初の試みとして高校生によるフォーラムを実施します。

● 日程及び場所

2010年10月12日（火）

午後1時～3時 なら100年会館大ホールで国内外の高校生7人（グループ）によるプレゼンテーション

午後3時半～6時 奈良市男女共同参画センター「あすなら」大会議室で高校生同士（発表者と参加者）のディスカッション及び交流会

● 発表者について

- ・ユースフォーラムでは、7人（グループ）の高校生に発表していただく予定です。

海外の世界歴史都市連盟加盟都市からの公募で選ばれた3人（グループ）

国内の連盟加盟都市である奈良市・京都市・金沢市から各1人（グループ）

会議開催都市の地元である奈良県内の高校生 1人（グループ）

- ・発表を希望する高校生には、6月30日までに発表の要旨を奈良市役所観光交流課あてに提出していただきます。（発表要旨の言語は日・英・韓・中のいずれかとし、日本語の場合は1,500字以内）

提出していただいた発表要旨を審査し、ユースフォーラムでの発表者を決定します。

● 発表について

第12回世界歴史都市会議のメインテーマ「歴史都市の継承と創造的再生」に沿って各自が発表したいと思うことを一人（グループ）10分のスピーチにまとめ、なら100年会館大ホールで発表を行ってまいります。発表言語は、日・英・中・韓のいずれかとします。

プレゼンテーション終了後、男女共同参画センター「あすなら」大会議室に場所を移し、メインテーマのもと日本の高校生とともに討議し、ユースフォーラム宣言を採択していただきます。

絵画コンテスト

奈良市では、第12回世界歴史都市会議に併せ、子どもたちが大切に思い、全世界に伝えたいと願う、自分の街・国の文化遺産について表現した絵画を募集します。

テーマ「伝えたい！私たちのまちの文化遺産」

絵画の内容は有形の文化遺産、無形の文化遺産を問いません。歴史的な建造物や、遺跡、町並み、伝統行事や芸能など、子どもたちの自由な表現で描いた作品を募集します。

- 応募資格
6歳～15歳程度（小学校もしくは中学校在学）の生徒及び児童
- 応募期限
2010年9月10日（金）
- 応募方法
世界歴史都市連盟加盟都市が作品を取りまとめて応募してもらいます。応募は一市につき5作品までとします。
- 募集作品について
作品サイズ：55cm×40cm以内
手法：水彩・油絵・クレパスなど自由。パソコンでの作品は不可。
その他：応募作品の裏面に応募票を日本語もしくは英語で記入して添付のこと。
- 審査について
審査は9月下旬に奈良市で行い、入賞作品を20点程度選びます。また、入賞作品の中から1点を、会議参加者の投票により特別賞として選びます。
なお、応募された全作品は第12回世界歴史都市会議の会場において展示します。
- 表彰について
第12回会議の閉会式で発表します。
入賞者には、賞状と副賞を進呈します。

奈良市長賞	1点
世界歴史都市連盟会長賞	1点
世界歴史都市連盟理事都市賞	6点
第12回世界歴史都市会議特別賞	1点
- 作品の返却について
応募作品はすべて連盟加盟都市を通じて返却します。

6 基調講演について

会議第1日目の開会式の後、松浦晃一郎前ユネスコ事務局長に「歴史都市の継承と創造的再生」をテーマに基調講演を行っていただきます。

松浦晃一郎氏のプロフィール

山口県出身。1937年生まれ。59年東京大学法学部を中退、外務省入省。61年米国ハヴァフォード大学経済学部卒。94年より駐仏大使。98～99年世界遺産委員会議長を務める。99年11月アジアから最初のユネスコ事務局長（第8代）に就任。2005年に再任、2009年に退任。在任中は、文化遺産保護分野での国際協力のさらなる強化に尽力した。世界遺産条約では駐仏日本大使在任中から「グローバル戦略」による地域間格差是正など包括的枠組みの見直し等、条約の強化に取り組んだ。また、新しい条約の作成にも力を入れ、水中文化遺産保護条約、無形文化遺産保護条約、文化多様性条約を誕生させた。